

「地産地消の仕事人」について

農林水産省生産局

1. 趣 旨

地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」の取組は、消費者に「顔が見え、話ができる関係」で地域の農産物を購入する機会を提供するとともに、直売所などを通じて高齢者や小規模農家に所得機会を創出するなど地域農業や関連産業の活性化にもつながる取組であり、一層の推進が求められているところである。

地域農産物の生産、流通・販売、加工その他地産地消の取組に関する知見や経験を有する「地産地消の仕事人」（以下「仕事人」という。）を選定し、仕事人の活動内容に関する情報発信や仕事人同士の連携、仕事人による研修・助言等により、各地の地産地消の取組を推進するとともに、消費者の地産地消への関心を深めることを目的とする。

2. 選定の経緯

- （１）農林水産省のホームページ等を通じて公募するとともに、地方農政局等を通じて地産地消の取組を行う団体へ仕事人の推薦依頼を行った。

公募期間：平成 20 年 7 月 7 日～8 月 6 日

- （２）仕事人は、以下のいずれかの要件を満たす者で、都道府県等から推薦された者 57 人の中から、9 月 8 日（月）に開催された選定委員会において、48 人を仕事人として選定しました。

<選定対象>

- ① 優れた地産地消の取組を実現する上で中心的な役割を果たした者
- ② 優れた地産地消の取組を実現する上で重要な助言や指導、コーディネート等を行った者

【「地産地消の仕事人」選定委員名簿（敬称略）】

氏名	所属・職名等	備考
秋岡 榮子	経済エッセイスト	
小泉 武夫	東京農業大学教授	
永木 正和	国立大学法人筑波大学大学院教授	座長
永島 敏行	俳優	
野見山 敏雄	国立大学法人東京農工大学大学院教授	
米本 雅春	全国農業協同組合中央会 暮らしの活動推進部長	
和田 正江	主婦連合会 副会長	

<選定基準>

- ① 仕事人の候補者（以下、「候補者」という。）が参加する又は候補者の指導や助言を受けた地産地消の取組が優れているか

② 候補者の活動が優れているか

3 選定された「地産地消の仕事人」の概要

① 男女別

内訳 男性 29人、女性 19人

② 所属・職業別

内訳 農業者 20人
農協職員等 6人
学校栄養職員等 5人
料理人 4人
その他 13人

(フードコーディネーター、卸売業者、加工業者、普及指導員など)

③ ノウハウや知見を有している領域別仕事人数（複数回答あり）

	人数（割合）
地産地消の仕事人	48人
うち、農産物直売所関係	32人（67%）
うち、学校給食関係	21人（44%）
うち、農産物加工関係	26人（54%）
うち、消費者との交流関係	31人（65%）
うち、食育	6人（13%）

4 今後の進め方

今後、各仕事人の「仕事」ぶりを順次、農林水産省のHPで紹介するなどして、仕事人の活動について情報発信を行う予定です。仕事人による講演や助言指導などにより、各地の地産地消活動の推進に活用していくことにより、消費者の地産地消への関心を深めていきます。